

2021年5月28日
東京電力ホールディングス株式会社
福島復興本社

福島復興本社における
賠償・除染・復興推進等に関する取り組み状況
～福島復興への責任を果たすために～

- 原子力損害賠償の進捗状況 _____ 1 ～ 2
- 福島復興へ向けた取り組み _____ 3 ～ 6

原子力損害賠償の進捗状況について

<原子力損害賠償のご請求・お支払い等実績>

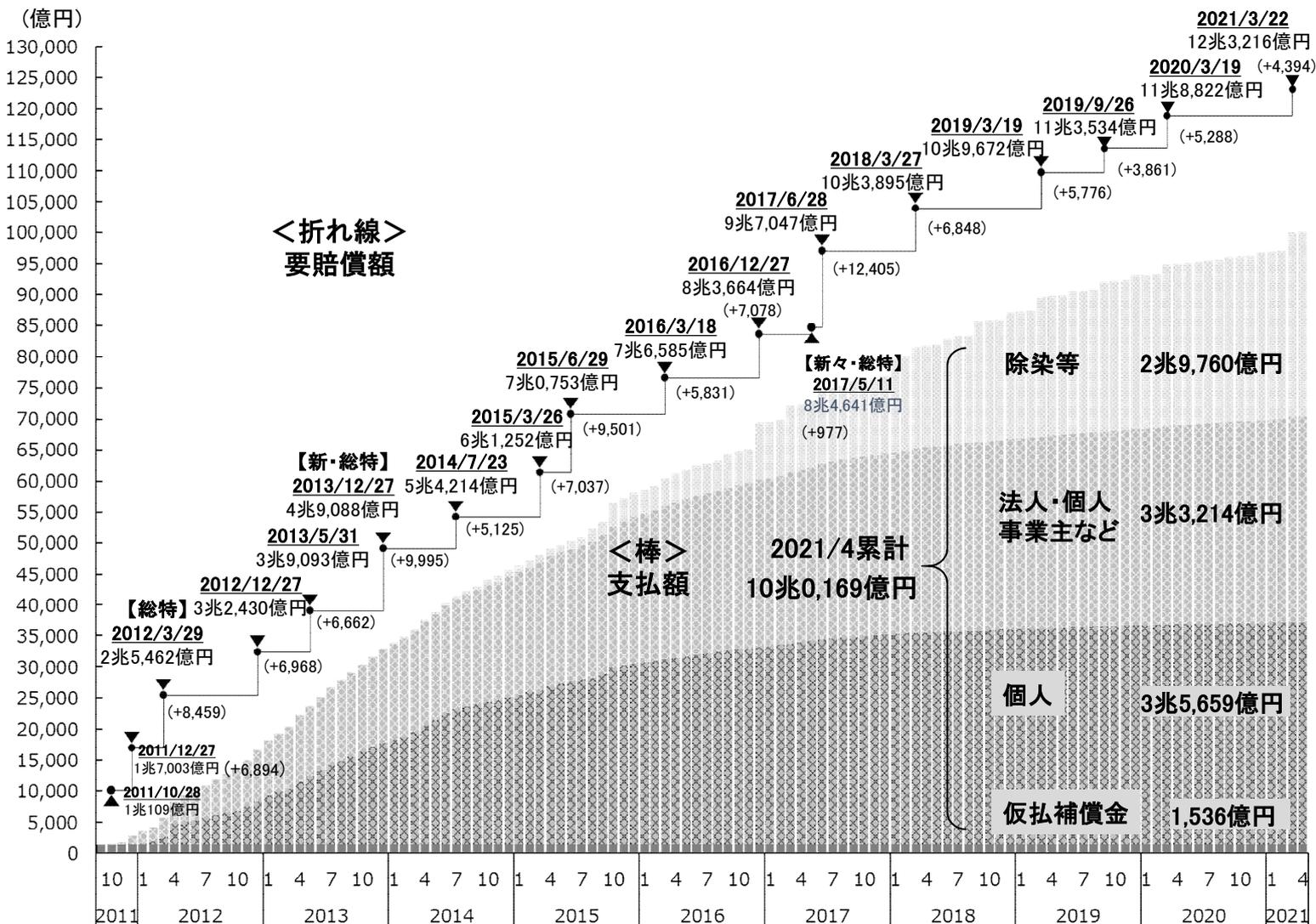
2021年4月30日現在

	個人 ※1	法人・個人 事業主など
ご請求について		
ご請求書受付件数(延べ件数)	約2,438,000件	約524,000件
本賠償の状況について		
本賠償の件数(延べ件数)	約2,303,000件	約449,000件
本賠償の金額 ※2	約3兆5,659億円	約6兆2,974億円
これまでのお支払い金額について		
本賠償の金額 ※2		約9兆8,633億円 ①
仮払補償金		約1,536億円 ②
お支払い総額		約10兆0,169億円 ①+②

※1 個人の自主的避難等に係る損害を含んでおります。

※2 仮払補償金から本賠償に充当された金額は含んでおりません。

<賠償支払額及び要賠償額の推移>



<賠償項目別の合意金額の状況>

	要賠償額<A> (2021年3月22日資金援助額変更申請)	合意いただけただ実績 ^{※1} (2021年4月末現在)
I. 個人の方に係る項目	20,758億円	20,001億円
検査費用等	3,447億円	2,784億円
精神的損害	10,981億円	10,902億円
自主的避難等	3,625億円	3,625億円
就労不能損害	2,704億円	2,689億円
II. 法人・個人事業主の方に係る項目	32,093億円	30,966億円
営業損害	5,520億円	5,404億円
出荷制限指示等による損害及び風評被害	19,042億円	18,740億円
一括賠償(営業損害、風評被害等)	3,291億円	2,583億円
間接損害等その他	4,238億円	4,238億円
III. 共通・その他	22,358億円	19,433億円
財物価値の喪失又は減少等	15,414億円	14,526億円
住居確保損害	6,694億円	4,656億円
福島県民健康管理基金	250億円	250億円
IV. 除染等^{※2}	48,005億円	29,760億円
合計	123,216億円	100,162億円

※1 振込手続き中の方も含まれるため、これまでのお支払金額とは一致しません。

【B/A 81%】

※2 閣議決定及び放射性物質汚染対処特措法に基づくもの。

<ご案内を開始している主な賠償項目>

	個人	法人・個人事業主
2011年	8月:個人本賠償 (精神的損害・就労不能等に伴う損害・検査費用・避難、帰宅、一時立入費用・生命、身体的損害等)	9月:法人本賠償 (営業損害・出荷制限指示等による損害・風評被害・間接損害等)
2012年	2月:自動車に対する賠償 自主的避難等に係る損害に対する賠償 7月:建物の修復費用等に係る賠償	2月:自動車に対する賠償 12月:償却資産および棚卸資産の賠償
2013年	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償、家財の賠償 11月:田畑に係る賠償	3月:宅地・建物・借地権等に係る賠償 11月:田畑に係る賠償
2014年	1月:精神的損害(要介護者さま等への増額)に係る賠償 3月:移住を余儀なくされたことによる精神的損害に係る賠償 早期帰還に伴う追加的費用に係る賠償 避難指示解除後の相当期間に係る賠償、仏壇の賠償 4月:住居確保に係る費用の賠償 7月:墓石等の修理に係る賠償 9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償、自主的除染に係る費用の賠償	9月:宅地・田畑以外の土地および立木に係る財物賠償 自主的除染に係る費用の賠償
2015年	2月:家財の個別賠償 3月:福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 4月:墓石等の移転に係る賠償 6月:避難指示解除準備区域・居住制限区域における精神的損害の追加賠償	3月:避難等対象区域内の農林漁業以外の事業者さまに対する仮払 福島県の避難指示区域以外の地域における立木に係る財物賠償 6月:新たな営業損害賠償等
2016年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:農林業者さまに対する2017年1月以降の営業損害賠償等
2017年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	12月:平成30年以降の避難指示区域外の農林業における風評賠償
2018年	1月:移住を余儀なくされた区域における住居確保にかかる費用の賠償のお取り扱い 3月:2018年4月以降における個人さまの避難・帰宅等にかかる費用の賠償のお取り扱い	8月:2019年以降の避難指示区域外の農林業における風評被害について
2019年	2月:住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し 9月:消費税率引上げにともなう住居確保費用(持ち家)の賠償における賠償上限金額の見直し	

<ADRの対応状況>

2021年4月27日現在

申立件数	27,015件
解決件数	25,959件
全部和解件数	20,756件
取下げ件数	2,935件
打切り件数	2,266件
却下	1件
和解の仲介をしない	1件
現在進行中の件数	1,056件

※申立件数のうち、当社に送達がなされているのは26,922件(4月27日現在)、月平均で約154件(2021年)

出典:原子力損害賠償紛争解決センターHPより

※現在進行中の件数のうち、13件は一部和解が成立している

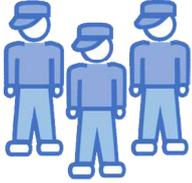
※和解金額は約3,317億円

福島復興へ向けた取り組み

福島復興へ向けた取り組み実績

■ 2021年4月までの実績

除染・復興推進活動



活動人数
984,051人
(前月比+5,686人)

復興本社設立(2013年1月)からの累計

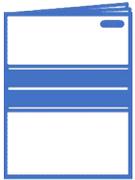
除染・復興推進活動



対応件数
646件/年度※

※2021年度の累計

原子力損害賠償



賠償お支払総額
約 10兆169億円
(前月比+123億円)

流通促進活動

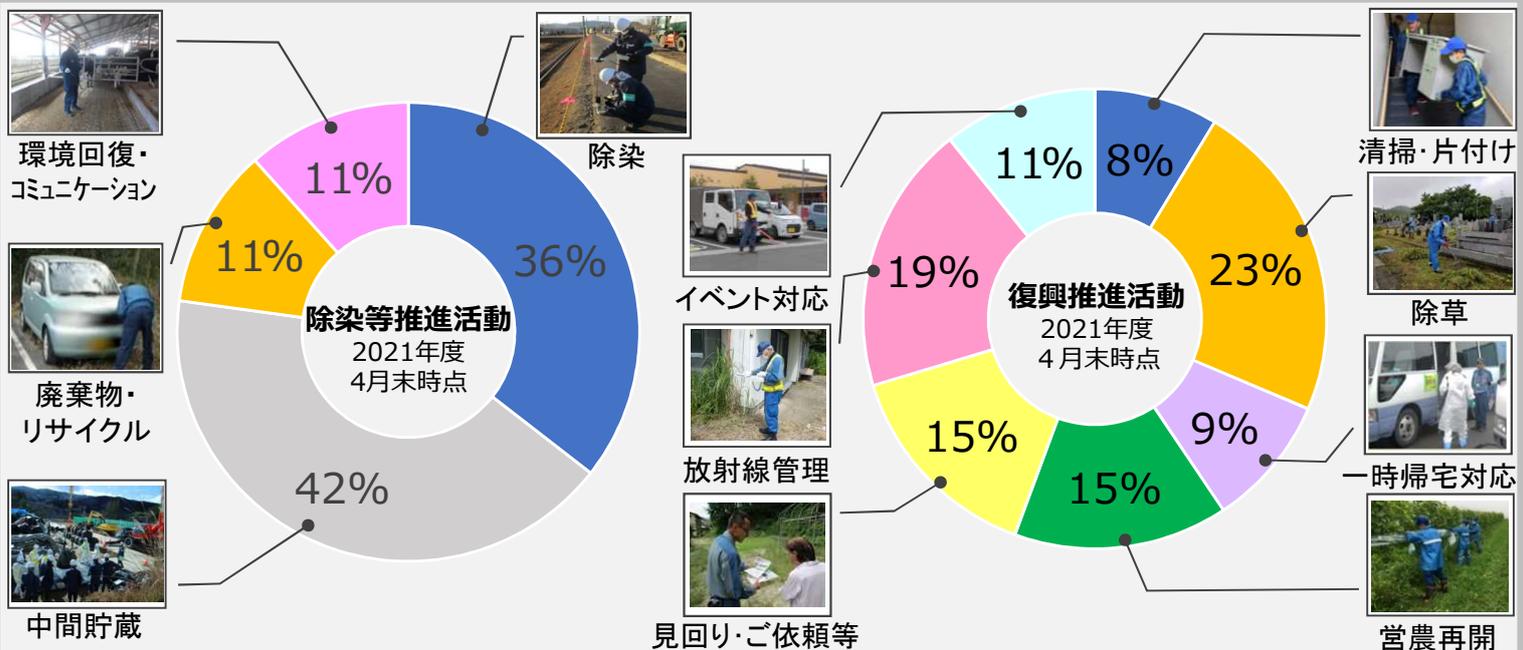


イベント開催日数※
8,923日
(前月比+223日)

ふくしま流通促進室発足(2018年2月)からの累計

※イベント開催・・・試食販売会・飲食店フェア等

■ 除染・復興推進活動の業務別割合



■ 今後の主な活動予定

【凡例】【除】・・・除染等推進活動 【復】・・・復興推進活動 【流】・・・流通促進活動 【他】・・・その他

- 【復】 2021/6/13「かわうち高原ドウダン祭り」のお手伝い(川内村)
- 【流】 6月の福島県産品販売会の開催予定(①～④)
 [インターネット] ①『発見!ふくしま』食べて 贈って ふくしまの桃・イッピンまつり」の実施 2021/6/1～8/31
 [首都圏] ②ビーズ赤羽様 ふくしまフェア 2021/6/4～6/6
 ③CIAL横浜様 ふくしまフェア 2021/6/28～6/30
 [福島県] ④スーパーマート様 福島県産品フェア(24店舗) 2021/6/24～6/27

福島復興へ向けた取り組み①

「かつらおヤギ広場」のオープンに向けた取り組み

取組内容

- 福島県相双農林事務所と葛尾村より要請をいただき、「かつらおヤギ広場がらがらどん」のオープン(2021年5月29日)に向けたお手伝いについて、社員延べ278人で実施
- 2017年12月より村内で試験飼育をしていたヤギの試料(敷料・飲用水・ヤギ糞など)を採取・放射能濃度分析や広場の空間線量率測定のお手伝いからはじまり、2018年12月よりヤギ舎の清掃、獣害対策フェンスや放牧地の木柵の設置、駐車場のシート張り等を実施

■ 『かつらおヤギ広場がらがらどん』の概要



ヤギ広場の全景



ヤギ広場での飼育状況



ヤギ舎内での飼育状況

- ・開園時期: 2021年5月29日予定(開園時間: 9時30分～16時、冬季閉園)
- ・広場面積: 約30,000m²(駐車台数: 25台)
- ・ヤギの数: 95頭を飼育(2021年5月20日時点)
- ・主な内容: ふれあい餌やり体験やヤギ乳石鹸の販売等

除染等推進活動 (2017年12月～)

「かつらおヤギ広場」での取り組み



空間線量率測定(広場内)



敷料



飲用水



空間線量率測定(通路上)



ヤギ糞



飼料

試料の
採取

「浜通り分析所」での取り組み

浜通り分析所の概要

【目的】 国や自治体からの各種ご要請に基づき、精密な放射能分析等を行うことにより、早期帰還・事業再開に貢献すること

【運用開始】 2015年4月

【規格取得】 2019年7月に「ISO17025」^{※1}を取得

【主な設備】 ゲルマニウム半導体スペクトロメーター^{※2}等



浜通り電力所敷地内
(富岡町)



浜通り分析所内

※1 ISO17025とは、国際標準化機構によって策定された、「品質管理(ISO9001レベル)」と国際的に技術水準を満たした「試験所」に与えられる国際標準規格

※2 ゲルマニウム半導体スペクトロメーターとは、ゲルマニウム半導体検出器による γ 線スペクトル解析を行うことにより、試料の放射能濃度測定(核種分析)を行う装置

放射性物質濃度分析の流れ

・ヤギ広場で採取した「敷料」・「飲用水」・「ヤギ糞」・「飼料」・「原乳」の5品目の分析を実施



試料の計量・容器詰め作業



容器詰めした試料



試料の分析

復興推進活動 (2018年12月～)

「かつらおヤギ広場」での取り組み



ヤギ舎の清掃



獣害対策フェンスの設置



放牧地の木柵の設置



駐車場のシート張り

今後の取り組み

- オープン当日は、駐車場で来場者の誘導を実施予定(5/29)
- 引き続き試料のモニタリングを実施予定(月1回)

福島復興へ向けた取り組み②

福島県産品の流通促進に向けた取り組み



主な福島県産品販売会(4月実績)

■東武ストア様で初開催・首都圏最大規模の「ふくしまフェア」

東武鉄道沿線を中心に多数店舗を展開する東武ストア様49店舗で、福島県産水産加工品約20品目（干物、煮物、その他加工品）の販売会を初開催。首都圏での49店舗同時開催は福島県産品の販売会実績としては最大規模

- ◆ 日時：2021年4月20日（火）～22日（木）
- ◆ 場所：東武ストア様49店舗〔東京都、埼玉県、千葉県〕

〔店舗関係者の声〕

- ◆ 「初めての仕入れ商品が多かったが、商品力に満足」、「商材アイテムが多いため、売り場づくりがし易かった」等の評価をいただいた



初開催

首都圏
最大規模

東武ストア様催事状況

■CIAL（シアル）鶴見様において「ふくしまフェア」初開催

JR鶴見駅（神奈川県横浜市）に直結する商業施設CIAL鶴見様において、同施設に出店する北辰水産様、ニュー・クイック様、九州屋様に参加いただき、福島県産水産物、福島牛、福島県産米や青果等の生鮮三品を取り揃えたフェアを初めて開催

- ◆ 日時：2021年4月22日（木）～25日（日）
- ◆ 場所：CIAL鶴見様1階生鮮食品売場〔神奈川県横浜市〕

〔イベント状況と店舗関係者の声〕

- ◆ 購入いただいた方、3店舗それぞれで各日先着100名様に福島県産品のプレゼントを用意し、早々に配布を終えるほど盛況
- ◆ 参加店舗様から「期間中、リピーターの方が増えている印象を受けた」等の評価をいただいた



初開催



CIAL鶴見様催事状況